

第1号議案 令和4年度事業執行状況報告に関する件

令和4年度事業執行状況報告書

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

令和4年度の事業については、事業計画に基づいて、職業能力開発推進事業と職業能力検定等の実施及び若年技能者の人材育成支援等を行い、労働者の職業能力開発向上を図るとともに、技能尊重の気運の高揚に努めた。特に、山梨県立中小企業人材開発センターの運営は、自主講座の開設、教育訓練への研修室貸出を重点的に展開し、概ね順調に進展している。

1. 総会及び役員会

(1) 第44回通常総会の開催

令和4年5月24日(火)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、会員数336のところ委任状提出者を含めた267名で次の案件を審議し、原案どおり可決又は承認された。

1) 令和3年度事業執行状況報告に関する件

2) 令和3年度収支補正予算及び決算に関する件

令和3年度一般会計収支決算

令和3年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支決算

令和3年度退職手当積立金特別会計収支決算

令和3年度認定職業訓練特別会計収支決算

令和3年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支決算

令和3年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支決算

令和3年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支決算

令和3年度財政調整積立金特別会計収支決算

監査報告

余剰金の処分について(案)

3) 令和4年度事業計画(案)に関する件

4) 令和4年度収支予算(案)に関する件

令和4年度一般会計収支予算(案)

令和4年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支予算(案)

令和4年度退職手当積立金特別会計収支予算(案)

令和4年度認定職業訓練特別会計収支予算(案)

令和4年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支予算(案)

令和4年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支予算(案)

令和4年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支予算(案)

令和4年度財政調整積立金特別会計収支予算(案)

5) 役員を選任及び解任に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第1回理事会を、令和4年4月19日(火)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数34のところ委任状提出者を含め32名により、第44回通常総会に提出する議案を審議し、原案どおり承認された。

2) 第2回理事会を令和5年1月17日(火)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数34のところ委任状提出者を含め33名により、令和4年度事業執行状況、収支補正予算、令和5年度事業計画(案)、収支予算(案)及び新規加入会員について審議し、原案どおり承認可決された。

(3) 常任理事会の開催

第1回常任理事会を、令和4年10月20日(木)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、第43回山梨県職業能力開発関係表彰式における会長表彰の被表彰者の選考を行った。

(4) 監事会の開催

令和4年4月12日(火)午後2時から、当協会において令和3年度事業執行状況及び令和3年度収支決算について、監事により監査が行われた。
その結果、事業執行及び会計事務等は正確かつ適正に処理されていることが確認され、その状況が第44回通常総会において報告された。

2. 会員の加入状況

会員の3月末現在の状況は、次のとおりである。

会員の区分	会員数	前年度 末数	比較 増減	増減内訳	
				入会	退会
特別会員	8	8	0	0	0
正会員	321	328	-7	1	8
認定職業訓練会員	19	19	0	0	0
団体会員	50	51	-1	0	1
企業会員	252	258	-6	1	7
合計	329	336	-7	1	8

3. 職業能力開発推進事業の実施状況

(1) 職業訓練指導員講習(48時間講習)の実施

職業訓練指導員養成のための48時間講習を1回(6/20~22、27~29)実施して、10名が修了した。

(2) 企業内教育訓練に講師派遣

企業内における従業員の教育訓練について、次のとおり事業所等の要請に応じて、管理監督者訓練等に講師を派遣した。

コース名	コース	受講人員		コース	受講人員
改善の仕方	1	7	中堅社員	1	7
人の扱い方	1	12	新入社員訓練	6	155
MTP	1	17	接遇	4	30
パソコン講座	1	13	安全作業のやり方	1	5

16 コース

246 人

(3) 普通職業訓練の実施

職業訓練の認定を受けて、次のとおり一般社員・管理監督者、パソコン技法、資格取得等の講習会を実施した。

一般社員講座	7 コース	受講者	132 人
管理監督者講座	3		24 人
計	10		156 人

(4) 関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議への参加

東京都が担当となり、職業能力検定・職業能力開発を推進する際の諸問題等について、下記により研究討議を行った。

◇第64回関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議

月 日 令和4年9月16日

場 所 各都県(ZoomによるWEB会議)

出席者 42名

(5) 令和4年度職業能力開発関係表彰式

11月の人材開発促進月間に厚生労働大臣及び中央職業能力開発協会会長表彰が行われ、県内関係者では、次の方々が表彰の栄誉を受けられた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止となった。

(厚生労働大臣表彰)

- ・ 卓越した技能者 宮澤明人 氏、田中保晴 氏、大窪公也 氏
- ・ 技能検定関係事業所 (有)加々美組
- ・ 技能検定関係功労者 遠藤昌仁 氏

(中央職業能力開発協会会長表彰)

- ・ 職業能力開発事業関係功労者 山宮一哲 氏
- ・ 技能検定事業関係事業所 (株)土屋工業
- ・ 技能検定事業関係技能検定委員 櫻井彰一 氏

(6) 職業能力開発経験交流プラザの開催

令和5年2月9日(木)「やる気を引き出す環境づくり」をメインテーマに、職業能力開発経験交流プラザを開催した。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえ、会場参加とオンライン配信のハイブリッド形式での実施となり、59人の参加をいただく中で、昭和産業(株)の岩下晃氏より「人材が活きる組織づくり」と題した企業事例講演を実施した。

(7) 教育研修用教材の提供

教育研修用ビデオテープ/DVDの無料貸出しは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来からの貸出業務の実施が困難となり、感染拡大防止の観点も踏まえ令和4年6月より一時休止としている。

(8) ものづくり講座の開催

地域住民へのサービスを目的に、生活に生かせる技能を習得するための「松のミドリ摘み教室」「松の手入れ教室」や、親子を対象とした「正月飾りづくり」「クリスマス飾りづくり」を実施した。

講座には県内各地より33名が参加し、講師の指導のもとで熱心に実技に取り組んだ。

4. 職業能力検定事業の実施状況

(1) 技能検定の実施

県が公示した令和4年度技能検定実施計画に基づいて、受検申請を受け付けた。

その結果、年間で201職種264作業に及んだ。

総合の受検状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	3年度	比較増減
前期	受検者	—	212	11	295	292	215	1,025	1,293	-268
	合格者	—	90	6	142	208	68	514	754	-240
	合格率	—	42.5	54.5	48.1	71.2	31.6	50.1	58.3	-8.2
後期	受検者	17	88	5	157	363	599	1,229	1,100	129
	合格者	8	36	2	58	241	394	739	542	197
	合格率	47.1	40.9	40.0	36.9	66.4	65.8	60.1	49.3	10.8
計	受検者	17	300	16	452	655	814	2,254	2,393	-139
	合格者	8	126	8	200	449	462	1,253	1,296	-43
	合格率	47.1	42.0	50.0	44.2	68.5	56.8	55.6	54.2	1.4

(2) 学科試験の実施状況

学科試験は全国統一実施日として、前期は7月10日、8月21日、8月28日、9月4日に、後期は令和5年1月22日、29日、2月5日に実施した。
その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	3年度	比較増減
前期	受検者	—	137	6	210	263	142	758	1,037	-279
	合格者	—	84	5	144	208	72	513	817	-304
	合格率	—	61.3	83.3	68.6	79.1	50.7	67.7	78.8	-11.1
後期	受検者	16	55	4	113	340	516	1,044	805	239
	合格者	8	37	3	67	282	399	796	596	200
	合格率	50.0	67.3	75.0	59.3	82.9	77.3	76.2	74.0	2.2
計	受検者	16	192	10	323	603	658	1,802	1,842	-40
	合格者	8	121	8	211	490	471	1,309	1,413	-104
	合格率	50.0	63.0	80.0	65.3	81.3	71.6	72.6	76.7	-4.1

(3) 実技試験の実施状況

実技試験は、前期は6月初旬から9月上旬までの間に実施し、後期は12月中旬から2月中旬にかけて実施した。
その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	3年度	比較増減
前期	受検者	—	187	11	264	275	207	944	1,176	-232
	合格者	—	91	6	146	224	163	630	829	-199
	合格率	—	48.7	54.5	55.3	81.5	78.7	66.7	70.5	-3.8
後期	受検者	9	78	5	147	340	546	1,125	1,048	77
	合格者	7	35	2	55	259	474	832	707	125
	合格率	77.8	44.9	40.0	37.4	76.2	86.8	74.0	67.5	6.5
計	受検者	9	265	16	411	615	753	2,069	2,224	-155
	合格者	7	126	8	201	483	637	1,462	1,536	-74
	合格率	77.8	47.5	50.0	48.9	78.5	84.6	70.7	69.1	1.6

(4) 技能五輪山梨県大会の実施状況

技能五輪は、職業訓練の振興と青年技能者の国際交流と親睦を図ることを目的として開催されている。

山梨県大会は全国大会に派遣する選手を選抜する予選として実施され、技能検定実技試験と併せて行い、一定水準の成績を収めた者には技能証が交付される。

その実施状況は、次のとおりである。

区分	予選参加者数	技能証該当者	技能証交付数
前期	75	0	0
後期	5	0	—

(5) 実技試験水準調整会議の実施

技能検定実技試験の円滑な運営実施を図るための水準調整会議は、技能検定委員の委嘱とともに、実施計画の日程調整を兼ねて、前・後期の受検申請者確定後に採点基準や事前準備等についての打ち合わせ会を開催した。

(6) コンピュータサービス技能評価試験の実施

コンピュータを活用したサービスを行う人の能力を評価し、技能習得意欲を増進させるとともに社会一般の評価を高め、この業務に従事する人々の社会的・経済的地位の向上を図ることを目的として、全国的に実施しているものである。

試験方法は、実際に機器を操作して問題を処理する実技試験を行い、昭和61年度から認定施設制度を設けて実施している。

本年度は、認定施設(14施設)で5月から令和5年3月にわたり、試験を実施した。その実施状況は次のとおりである。

区分	ワープロ部門			表計算部門		
	受験者 人	合格者 人	合格率 %	受験者 人	合格者 人	合格率 %
1級	0	0	0.0	0	0	0.0
2級	38	34	89.5	39	34	87.2
3級	30	28	93.3	32	31	96.9
計	68	62	91.2	71	65	91.5

受験者総数

139 人

(7) ビジネス・キャリア検定試験の実施

ビジネス・キャリア検定試験は、厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠し、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験であり、全国的に実施しているものである。

試験は筆記試験で行われ、前期は令和4年10月2日に実施して、後期は令和5年2月19日に実施した。

試験の実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

試験分野	前期			後期		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
人事・人材開発・労務管理	8	5	62.5	6	4	66.7
経理・財務管理	2	0	0.0	4	1	25.0
営業・マーケティング	5	4	80.0	5	5	100.0
生産管理	17	7	41.2	28	14	50.0
企業法務・総務	2	2	100.0	5	4	80.0
ロジスティクス	4	4	100.0	22	19	86.4
経営情報システム	2	2	100.0	3	0	0.0
経営戦略	4	2	50.0	12	9	75.0
合計	44	26	59.1	85	56	65.9

受験者総数

129 人

年間合格率

63.6 %

5. 山梨県立中小企業人材開発センター運営管理事業

平成2年3月、山梨地域職業訓練センター(県称:山梨県中小企業人材開発センター)は事業主等が雇用する労働者に対し、また、各種団体等が地域住民に対し、多様な教育訓練を行う場として、さらには、技能検定試験の拠点となるよう雇用促進事業団が設置して、山梨県を通じて当協会が施設の運営管理を受託した。

平成23年度には当施設が山梨県に譲渡され、山梨県立中小企業人材開発センターと名称し、その運営管理を当協会が指定管理者として受諾した。

その後も、指定管理者制度のもと平成24年度から運営管理に努め、現在は令和3年から4年間の委託期間の中で、施設利用の拡充と利便に努めている。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により、研修室の定員数を制限して運営を行った。

3月末での利用状況は、次のとおりである。

区 分		利用延人員 (人)	利用率		
			最高	1月	53.85%
研修会・講習会		16,723	最低	4月	25.19%
技能検定		6,168	年 間		43.41%
その他		4,863	利用日数		313/337日
合 計		27,754			

※ 利用率＝利用室数／利用可能室数
(11室×利用可能日)

※ 利用日数＝開館利用日数
分母は、利用可能日数
365日－(祝日＋年末年始＋消毒日＋利用不可日)

6. 若年技能者人材育成支援等事業

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度の技能を有する技能者の育成等が課題となっており、昨年度に引き続き、厚生労働省の委託事業として、山梨県内において事業展開をしている。県内で取り組んでいる事業は、次のとおりである。

(1) ものづくりマイスター等を活用した事業

- ア. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 51 件
- イ. ものづくりマイスター、ITマスターの認定者数 2 人(累計 146 人)
- ウ. 実技指導の実施(延べ受講者数) 873 人
(企業・業界団体:6社、工業高校等:6校)
- エ. 若者サポートステーションでの魅力の発信(体験教室) 18 人(2回)
- オ. 公共施設でのイベント開催(体験教室) 62 人(1回)

(2) 地域における技能振興事業

- ア. 熟練技能者による実技指導(延べ受講者数) 248 人
 - イ. 技能五輪全国大会の参加選手等への援助 1 職種、4人
 - ウ. 若年者ものづくり競技大会の参加選手等への援助 2 職種、3人
- (3) 連携会議の開催 2 回(資料配付)

7. 第41回山梨県技能まつりの開催

第41回山梨県技能まつりは、11月の人材開発促進月間行事の一環として、また、県民の日記念行事に協賛して、県、当協会及び技能士会連合会の三者共催により、11月20日(日)に小瀬スポーツ公園を会場として開催された。

当日は、職業訓練生などが製作した作品の展示即売や、ものづくり体験コーナーが設けられ、多くの人で賑わった。

8. 山梨県職業能力開発関係表彰式

人材開発促進月間の行事の一つとして、11月29日(火)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて、技能者表彰、職業訓練関係功績者等の知事表彰、山梨県職業能力開発協会会長表彰、山技連会長表彰や、全国表彰受賞者の伝達等が行われた。

9. 第17回若年者ものづくり競技大会への選手派遣

第17回若年者ものづくり競技大会は、令和4年7月27日、28日の両日、広島県広島市「県立広島産業会館」他5会場で、全国から20歳以下の者340名が、15職種に参加して大会が開催された。

本県からは、木材加工職種とウェブデザイン職種に計3名が参加したところ、木材加工職種の井上尊博選手(県立甲府工業高校)が敢闘賞を受賞した。

10. 第60回技能五輪全国大会への選手派遣

第60回技能五輪全国大会は、令和4年11月4日から11月7日までの間、千葉県千葉市「幕張メッセ」を中心として、全国から青年技能者1,014名が、42職種に参加して大会が開催された。

本県からは、旋盤職種2名、貴金属装身具職種4名の計6名が参加したところ、貴金属装身具職種の小澤宗寿選手(県立宝石美術専門学校)が銅賞を受賞した。

11. その他

令和4年9月に会報「山梨の能力開発」No.87を、また令和5年3月にNo.88を、発行及び配布した。